



おなかのかわ

瀬田貞二再話 村山知義絵 福音館書店

「ごちそうによびあうことにしたねことおうむ。でも、ねこはほんのちよつとしかごちそうをだしません。それなのにおうむのよういしたごちそうはぜんぶたべて、そのうえもつとたべたいというのです。」ぼくでもたべろよ」とじょうだんをいったおうむを「ぺろりいくん」とまるのみにしたねこ。それでもたりずに、であったものを「ぎつぎと」ぺろりいくん」。

はじめはこの絵本^{えほん}が登場^{とうじょう}したのは三十年^{さんじゅうねん}以上^{いじょう}も前^{まえ}のこと。長く^{なが}愛^{あい}されてきた絵本^{えほん}が復刊^{ふっかん}されました。

